

数学科 中学校 3年

単元名 図形と相似
啓林館 未来へひろがる数学3

本時の流れ (第15時)

本時の目標の確認

課題①

三角形の2辺の中点を結んだ線分と、それに向かい合う辺の間の関係を考察する。

課題②

中点連結定理の証明について考える。

課題③

中点連結定理の証明について交流する。
(グループ)

全体交流

全体で、グループの中で出てきた、中点連結定理の証明を交流し確認する。

練習問題

簡単な適応問題を解き、中点連結定理についての理解を深める。

学習のまとめ

本時の振り返りと次時の予告をする。

本時の目標

中点連結定理を導き、それを用いて辺の長さを求めたり、図形の性質を証明したりする。

【課題①】

三角定規を使って、2直線の位置関係と2つの線分の長さを測り関係を把握する。

【課題②】

中点連結定理の証明について、既習事項を使いながら、色々な方法で証明する。

【課題③】

各自で考えた証明をグループで交流し、考えを深める。

個別指導で、補助線の引き方等について支援し、自分たちで証明できた喜びを実感させると共に、中点連結定理を印象付ける。

活用の力を育てる評価の視点

中点連結定理について、2つの性質を実測する活動、既習事項をもとにグループで証明する活動を通して理解を深める。
< 数学的な見方や考え方 >

評価問題

単元の流れへ

HOME